

## ○審議会確認事項 [既に確認済みのもの(修正案についての意見なし)]

## 【修正ア】 【みんなでつくるまちづくり】 (P13)

(現行)	(修正案)
<p>みんなが輝き魅力あるまちを築くためには、人と人、人と地域がつながることが必要です。</p> <p>市民一人ひとりの人権が尊重され、平和を尊び、国籍・性別、障害の有無などによって差別されることのない平等な社会の構築を進めます。</p> <p>また、今まで以上に地域の視点を重視しつつ持続可能で自立的な自治体経営を進めます。</p>	<p>みんなが輝き魅力あるまちを築くためには、人と人、人と地域がつながることが必要です。</p> <p>市民一人ひとりの人権が尊重され、平和を尊び、国籍・性別、障害の有無などによって差別されることのない平等な社会の構築を進めます。</p> <p>また、今まで以上に地域や協働の視点を重視しつつ持続可能で自立的な自治体経営を進めます。</p>

## 【修正イ】 【5. まちづくりの課題】 (P9)

(現行)	(修正案)
<p>基本構想の計画期間(10年間)を見据え、市を取り巻く環境や今後の変化を踏まえたまちづくりの課題を以下のとおり整理します。</p>	<p><u>4つの理想のまち(将来像)の実現には、目指す理想と現実との差を「まちづくりの課題」として認識し、明確にする必要があります。</u>基本構想の計画期間(10年間)を見据え、市を取り巻く環境や今後の変化を踏まえたまちづくりの課題を以下のとおり整理します。</p>

## 【修正ウ】 【み1-2-1】 (P45)

## ◇タイトル

(現行)	(修正案)
<p>み1-2-1</p> <p>まちづくりの先頭に立つ市職員の育成に努めます</p>	<p>み1-2-1</p> <p><u>協働によるまちづくりを実践する</u>市職員の育成に努めます</p>

## ◇記載内容

(現行)	(修正案)
<p>これからのまちづくりは、行政だけで進めるのではなく、市民の力が反映できる環境を整えつつ、市民の市政への参加を促進させ、お互いに協力する中で課題を発見し、解決に向けた取組を検討するなど、協働による取組が重要となります。</p> <p>このため、市民と同じ視点に立ち、新たな関係性を踏まえた上で課題認識を共有し、<u>リーダーシップ</u>を発揮して目標に向けた取組ができる職員の育成やコーディネート能力の向上のための研修などに取り組みます。</p>	<p>これからのまちづくりは、行政だけで進めるのではなく、市民の力が反映できる環境を整えつつ、市民の市政への参加を促進させ、お互いに協力する中で課題を発見し、解決に向けた取組を検討するなど、協働による取組が重要となります。</p> <p><u>その</u>ため、市民と同じ視点に立ち、新たな関係性を踏まえた上で課題を共有し、<u>協働によるまちづくりを主体的に進め</u>、目標に向けた取組ができる職員の育成やコーディネート能力の向上のための研修などに取り組みます。</p>

【修正エ】 【創 1-3-5】 (P69)

◇タイトル

(現行)	(修正案)
創 1-3-5 家庭の教育力の向上に努めます	創 1-3-5 家庭の教育力の向上を支援します

◇記載内容

(現行)	(修正案)
<p>学校教育とともに、学力の向上や心身の健やかな成長につなげるための家庭の教育力が重要視されています。</p> <p>家庭の教育力を向上させるため、子どもと一緒に参加できる学習機会や各種行事の充実、保護者同士の交流などを図りつつ、身近な生活に関する学習情報の提供を進めます。</p>	<p>子どもたちが学校で確かな学力を習得するためには、その基礎となる基本的な生活習慣や社会性を身につけるための家庭の教育力の向上が重要視されています。</p> <p>そのため、子どもと一緒に参加できる学習機会や各種行事の充実、保護者同士の交流などを図りつつ、身近な生活習慣に関する学習情報の提供などの支援を進めます。</p>

内容を確認した上でご意見をいただきたいもの

○審議会確認事項 [庁内意見により、事務局において修正したもの]

[修正オ]

◇タイトル

(現行)	(修正案)
創1-1-2 家庭と学校・地域の連携による子どもの育ちを支援します	創1-1-2 家庭と学校・地域の連携による子どもの育ちを支援します

◇修正案

(現行)	(修正案)
<p>核家族化の進行や共働き世帯の増加などにより、家族だけでは子どもたちの育ちを見守ることがむずかしくなっています。</p> <p>子どもたちの居場所の確保や、世代を越えた交流機会の確保に引き続き取り組みます。</p> <p>さらに、学校・家庭・地域が連携することで子どもたちの地域社会への参画意欲を促し、子どもたちが自ら考えて行動し、成長していく環境を整えます。</p>	<p>核家族化の進行や共働き世帯の増加などにより、家族だけでは子どもたちの育ちを見守ることがむずかしくなっています。</p> <p>子どもたちの居場所の確保や、世代を越えた交流機会の確保に引き続き取り組みます。</p> <p>さらに、学校・家庭・地域が連携することで子どもたちの地域社会への参画意欲を促し、子どもたちが自ら考えて行動し、成長していく環境を整えます。</p> <p><u>また、特に近年では、子どもの基本的な生活習慣の乱れや社会性の低下が見られるようになり、「小1プロブレム」が社会問題化しています。家庭や地域社会における教育力の向上を図り、子どもの育ちを支援します。</u></p>

[修正カ]

◇創1-3 現状と課題

(現行)	(修正案)
<p>国際化やITの普及などに伴い、教育の内容は多様化してきています。子どもたちが生きる力を育み確かな学力を身につけるための学習内容の対応が進む一方で、いじめや不登校などの問題は社会問題となっています。</p> <p>(以下、省略)</p>	<p>国際化やITの普及などに伴い、教育の内容は多様化してきています。子どもたちが生きる力を育み確かな学力を身につけるための学習内容の対応が進む一方で、いじめや不登校などの問題や<u>子どもの生活習慣の乱れや社会性の低下などによる「小1プロブレム」といった現象</u>は社会問題となっています。</p> <p>(以下、省略)</p>

○審議会確認事項 [パブコメ及び委員からのご意見により内容確認をしたいもの]  
[修正キ]

◇タイトル

笑1-2-1 地域で高齢者を支える互助のしくみづくりを推進します	笑1-2-1 地域で高齢者を支える互助のしくみづくりを推進します
-------------------------------------	-------------------------------------

<パブコメ意見>

笑1-2-1: 高齢化したから孤立化したのではなく、もともと世代間のつながりが薄いところが高齢化に伴って目立つようになるのではないかと考えています。他人の手を借りるようになる前に、世代間交流を増やすべきでは。それを抜きに「互助」を呼びかけても、支える方の意識が上がらないのではないかと。

<パブコメ回答案> ※回答は修正しない方向だが意見あり

「高齢化したから孤立化した」とは考えておらず、文中にありますように、高齢化の進展により、一人暮らし高齢者や高齢者夫婦世帯の急増といった環境の変化がある中で、高齢者の孤立化への対応といった課題が生じていると考えています。ご指摘のとおり、「孤立化」については、世代間のつながりが薄いことが背景の1つとなっていると考えており、「み1-1-1 地域コミュニティ強化の取組を進めます」において、地域コミュニティにおける人と人とのつながりの希薄化を課題として挙げ、世代間交流の促進に取り組むこととしております。

<委員意見>

“高齢化が進展し、”はいらぬ。そして、下記のようにします。「一人暮らしの高齢者や高齢者夫婦所帯の急増は、高齢者の孤立化への対応や日常的生活への支援など、さまざまな課題を生じさせています。」



◇記載内容

(現行)	(修正意見)
<p>高齢化が進展し、一人暮らし高齢者や高齢者夫婦世帯が急増する中、高齢者の孤立化への対応や身近な生活への支援など、さまざまな課題が生じています。</p> <p>高齢者の暮らしを見守り、住み慣れた暮らしを支えるためには、地域においてお互いが助けあい支えあうことのできるしくみづくり、多様化するニーズの把握とその対応が必要です。</p> <p>自助・共助(互助)・公助の考え方を基本に、市民やNPO・団体、事業者と連携して、地域の力を活かした支えあいの取組を進めます。</p>	<p>一人暮らしの高齢者や高齢者夫婦所帯の急増は、高齢者の孤立化への対応や日常的生活への支援など、さまざまな課題を生じさせています。</p> <p>高齢者の暮らしを見守り、住み慣れた暮らしを支えるためには、地域においてお互いが助けあい支えあうことのできるしくみづくり、多様化するニーズの把握とその対応が必要です。</p> <p>自助・共助(互助)・公助の考え方を基本に、市民やNPO・団体、事業者と連携して、地域の力を活かした支えあいの取組を進めます。</p>

<事務局案>

「高齢化が進展し」を削除し、「一人暮らしの高齢者や高齢者夫婦所帯の急増は、高齢者の孤立化への対応や日常的生活への支援など、さまざまな課題を生じさせています。」とします。